

『株式売買発注機能』の拡充について

～ 業界初「優先指値注文」など、「新・価格条件付き注文」の新設 ～

日興ビーンズ証券株式会社（取締役社長：沼口秀一、本社：東京都中央区；以下「日興ビーンズ」）は、『株式売買発注機能（現物株式取引・信用取引）』を大幅に拡充することを決定いたしましたので、ここにお知らせします。

日興ビーンズでは、より利便性に富んだトレード環境をご提供する為に、従来の注文方法（注）に加えて、新たに『新・価格条件付き注文』として5つの株式売買注文方法（呼称：「プロ注文」）のサービス提供を開始いたします。

特に「先頭指値注文」「優先指値注文」「現在値指値注文」の注文方法は、投資家の皆様に業界では初めてご案内する注文形態であり、お客様は他社にはない多彩な株式売買注文を発注して頂くことが可能となります。

また、「連続注文」・「リバース注文」のサービス開始、「注文訂正機能」の追加も行い、株式売買発注機能を大幅にグレードアップいたします。

これらのことにより、お客様のさまざまな注文ニーズに対応可能となり、より一層機動的なお取引にご活用頂けるものと考えます。

日興ビーンズは、今後も継続的にさまざまな注文方法の拡充を図り、お客様のニーズに沿った他社には無い新サービスの提供を図っていく所存です。

～ 新・価格条件付き注文等の概要 ～

プロ注文（新・価格条件付き注文）

従来の注文方法に加えて、新たに5つの価格条件付の注文が可能となります。

「先頭指値注文」

注文時点で値段を指定することなく、注文入力時点の同側気配（買い注文であれば「買い気配」、売り注文であれば「売り気配」）に1値段優先する値段を指値とする注文です。

「優先指値注文」

お客様が発注をされた以降、当社が注文を執行した後に、取引所が注文を受付けた時点の約定値段（現在値）に1値段優先する値段を注文値段とする注文です。そのため、値段指定をしなくとも自動的に現在値の1値段上下の指値注文となります。

「現在値指値注文」

お客様が発注をされた以降、当社が注文を執行した後に、取引所が注文を受付けた時点の約定値段（現在値）を注文値段とする注文です。そのため、値段指定をしなくとも自動的に現在値の指値注文となります。

「成行残数指値注文」

お客様が発注をされた以降、当社が注文を執行する段階では成行注文として取扱われ、取引所が発注を受け付け最初の約定が成立した時点で、未約定の残数がある場合には、残数が自動的に最初の約定値段の指値注文となる注文です。

「成行残数取消注文」

お客様が発注をされた以降、当社が注文を執行する段階では成行注文として取扱われ、取引所が発注を受け付け最初の約定が成立した時点で残数がある場合には、残数が自動的に取消される注文です。

なお、執行条件注文をされないお客様には「プロ注文画面」とは画面を分けた、シンプルな「スタンダード注文画面」をご用意いたしますので、お客様のニーズにより注文画面をお選びいただけます。

連続注文

「連続注文」とは、最初に発注した注文（現物株の売買注文、信用新規注文）が約定したら、自動的に次の注文を発注するという連続した注文方法です。連続注文を行う際、最初の注文を指定し、その注文に連続する注文を予約しておけば、最初の注文が約定されたときに、自動的に予約した連続注文が発注されます。この「連続注文」を利用すれば、例えば、「A銘柄が売れたらB銘柄の買い注文を発注する」という設定が可能となります。

リバース注文

「リバース注文」とは、同一銘柄の注文を発注する際に、その注文が約定すれば、その注文の反対売買注文が発注されるという注文方法です。最初の注文を発注する際に、その銘柄の反対売買注文（約定値段± 円）を予約しておき、最初の注文が約定されたときに、自動的にその銘柄の反対売買注文（約定値段± 円）が発注されます。この「リバース注文」を利用すれば、例えば、「A銘柄を成行きで買い注文を発注し、それが約定すれば、その同一銘柄の売り注文を、買い注文の約定値の50円上で発注する。」といった設定が可能となります。

注文訂正機能

多くのお客様からのご要望にお応えし、指値変更・株数変更の「注文訂正機能」を追加いたします。これにより、注文中の指値および株数を訂正する際に、注文取消しを行い再度注文し直すことなく、容易に注文訂正が行えるようになります。

サービス開始

2002年3月より順次開始いたします。

サーフィントレード（同一受渡日・同一資金での銘柄乗換売買サービス） サービス実施中
日興ビーンズでは既にサービスを実施しております、同一受渡日における同一資金での異なる銘柄の株式への銘柄乗換売買が行えるサービスを、この度、『サーフィントレード』として呼称することといたしました。
「サーフィントレード」は、現物株式において、日計り取引を行った銘柄の売却代金で異なる銘柄の買い注文を行うことが可能です。

[サーフィントレードの例]

買付限度額 100 万円	A 銘柄買い 100 万円	A 銘柄売り 110 万円
買付限度額 110 万円		
B 銘柄買い 110 万円	B 銘柄売り 120 万円	
買付限度額 120 万円		
C 銘柄買い 120 万円		

(注)「従来の注文方法」

- ・期間指定注文：当日中、今週中、今月中など最大 30 日先までの期間指定注文が可能。
- ・指値注文：銘柄や数量とともに希望する値段を指定しての注文が可能。
- ・成り行き注文：売買価格を指定せずに行う注文が可能。
- ・執行条件付き注文：寄付、引け、指成など条件を付けての売買注文が可能。